

第332回

日文研フォーラム

講師◎西野 亮太 南太平洋大学(フィジー) 上級講師/日文研外国人研究員

「旅する記憶」太平洋戦争の記憶と追体験
— パプアニューギニア戦線を中心に —

コメンテーター◎楠 綾子 日文研准教授

司会◎呉座 勇一 日文研助教

2019年11月20日(水) 十八時三十分〜二十時三十分(開場十八時十分頃)

ハートピア京都3階大会議室 入場無料・先着一八〇名まで

申込不要(十七時四十五分頃より整理券配布)

International Research Center for Japanese Studies

The 332nd Nichibunken Forum

主催: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



日文研フォーラム

「旅する記憶」太平洋戦争の記憶と追体験

「Papua New Guinea War: Japanese Impressions of the Papua New Guinea Campaign」

日本の敗戦後、太平洋戦争の記憶の忘却への危惧が高まりつつも、戦争を描く小説、映画、漫画、テレビ番組は途絶えません。この講演では様々な人々で残された戦争記録を「旅する記憶」と名付け、時と場所を超えどのように戦争記憶が想像・創造そして再想像・再創造されてきたのかをたどります。

元兵士達の戦記が作った歴史から始まり、次世代の人々が戦跡への紀行などを通じ、どのように歴史を追体験したのかという過程に注目していきます。特に今現在の日本では忘れ去られていると言っても過言ではない、パプアニューギニアに注目します。

講師 西野 亮太 南太平洋大学(フィジー) 上級講師/日文研 外国人研究員



1999年ローズ大学(南アフリカ共和国) 文学部歴史学専攻優等学位卒業。2007年西オーストラリア大学歴史学科博士課程修了。クライストチャーチ工科大学(ニュージーランド)、フィジー国立大学を経て現職。2019年4月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。専門分野は、日本戦後史、紀行文学史。主な業績に、“Better Late than Never? Mizuki Shigeru’s Trans-war Reflections on Journeys to New Britain Island” (*Japan Review* 32, 日文研, 2019)、“Self-promotion of a Maverick Travel Writer: Suzuki Tsunenori and his Southern Pacific Islands Travelogue, *Nanyō tanken jikki*” (*Studies in Travel Writing* 20:4, Taylor and Francis, 2016) などがある。

コメンテーター 楠 綾子 日文研 准教授



神戸大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士(政治学)。(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究員、関西学院大学准教授を経て2015年より国際日本文化研究センター准教授。専門分野は日本政治外交史、安全保障論。主な業績に、『現代日本政治史① 占領から独立へ 1945～1952』(吉川弘文館、2013)、『吉田茂と安全保障政策の形成—日米の構想とその相互作用、1943～1952年』(ミネルヴァ書房、2009)、『『失われた20年』の外交・安全保障論争』(アンドルー・ゴードン・瀧井一博編、『創発する日本へ—ポスト「失われた20年」のデッサン』、弘文堂、2018) などがある。

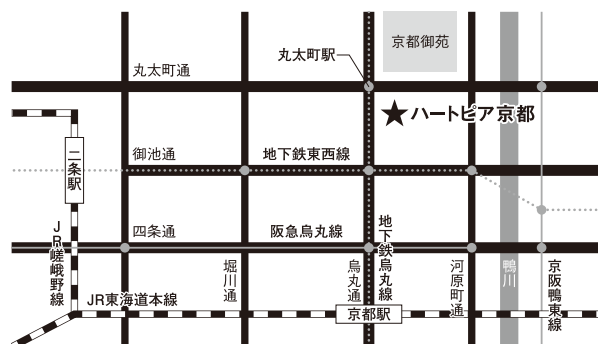
日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)に滞在中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、交流の一助となることを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2
TEL: 075-335-2078
<http://www.nichibun.ac.jp/>



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車